

教員養成の目標を達成するための計画

【人間教育学部 人間教育学科】

免許種	内容
幼稚園一種 小学校一種	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れる。 ・免許種の教職課程科目以外にも、教育現場で広く必要とされる知識を身につけるため、「学校保健」や「特別支援教育」を卒業必修科目に位置づける。 ・1年次の幼稚園・小学校見学実習、2年次前期の学校インターンシップは全員に参加を義務づけ、早い段階から教育現場での体験を積み重ねる。学校インターンシップは、2年次後期以降も継続的に行うことを推奨する。 ・地域の学校園での、補習指導や放課後学級のボランティア活動を推奨する。
中学校一種（国語） 高等学校一種（国語）	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れる。 ・学習の基盤となることばの力を育成し、地域および全国の学習者の学力保障、資質・能力の育成につなげる。
中学校一種（英語） 高等学校一種（英語）	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れる。 ・「英語教育法」に加えて、正しい英語学習法・各種辞書活用法・発音指導法・文法指導法・音読指導法・スムーズな小中接続に必要な身体を使った指導法・4技能統合型指導法・テスト問題作成法・評価法など「英語科教育法」では十分に扱えない分野を深く掘り下げて学習する。
中学校一種（保健体育） 高等学校一種（保健体育）	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れ、1年次から医学的知見を修得する科目を配置する。 ・免許種の教職課程科目以外にも、教育現場で広く必要とされる知識を身につけるため、「学校保健」や「特別支援教育」を卒業必修科目に位置づける。 ・1年次のスポーツ関連機関見学実習、2年次前期の学校インターンシップは全員に参加を義務づけ、早い段階から教育現場での体験を積み重ねる。学校インターンシップは、2年次後期以降も継続的に行うことを推奨する。 ・地域の高等学校と連携し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりへの参画、体験プログラムを、「フィールドワーク」として科目化する。 ・地域の学校やスポーツ教室での、ボランティア活動を推奨する。
特別支援一種 （知的障害者・肢体不自由者・病弱者に関する教育領域）	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れる。 ・2年次前期の学校インターンシップは全員に参加を義務づけ、早い段階から教育現場での体験を積み重ねる。学校インターンシップは、2年次後期以降も継続的に行うことを推奨する。 ・地域の学校園の、特別支援学級や発達障害児童・生徒の補習対応などのボランティア活動を推奨する。
養護教諭一種	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科教諭免許状科目と特別支援教諭免許状科目との内容連携を深め、地域の小・中・高等学校への健康科学支援や地域社会の健康・スポーツ文化支援を行う。 ・今日の教育的諸問題に関する具体的事例を学ぶとともに、問題解決能力向上のため、集団討論やディベート等を活用する。